

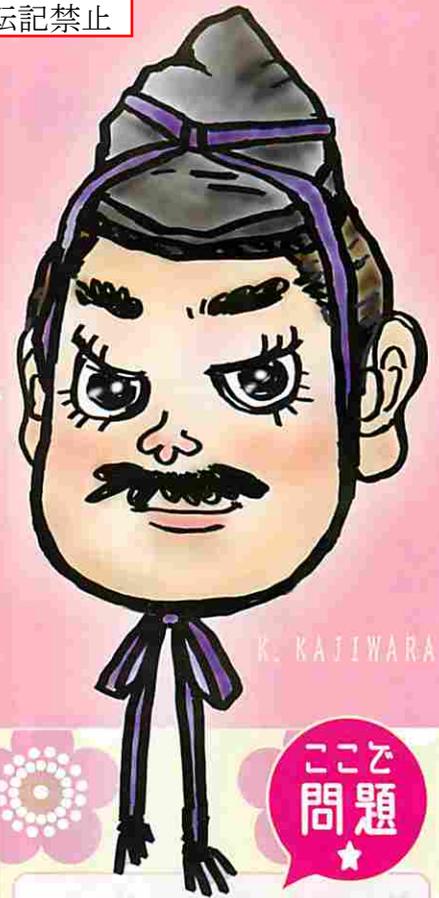
鎌倉幕府の超重要人物 梶原景時

鎌倉幕府の超重要人物

梶原景時

を知って欲しいの。

はろー



K. KAJIWARA

ここで問題★

左の絵、あの源頼朝が平氏との戦いに敗れ「しどこのいや」で絶体絶命の大ピンチに、**梶原景時**に助けられた一場面です。さて、梶原さんはどの人でしょうか!

★答えは裏🎵

※この絵は歌川国芳という江戸時代末期の絵かきさんが描いたものです。



命を助けたこともあり、頼朝の厚い信頼を得てメキメキ頭角を現す梶原さん。頼朝の政権運営を盤石なものにするため、あらゆる任務を冷静に的確にこなしていきます。暗殺だってしちゃう徹底ぶり。荒くれ侍たちを統括する役所、軍奉行、頼朝の嫡男の出産に関わる諸々や和歌のお相手まで…なんでもこまごま生真面目にやります。息子さんたちも活躍する姿が歴史書『吾妻鏡』にたびたび登場!! 都の高僧からは「鎌倉本体の武士」なんて呼ばれていました。※鎌倉本体の武士とは「鎌倉の重要な武士」「鎌倉幕府の中枢を担う武士」といった意味。

なんで寒川なの?

そんな鎌倉一のデキルお侍さんを、なんで寒川町が推しているかって? それは…!!!

梶原さんのおうち「館(住居に堀を備え砦の役割も持つ)」が寒川町の南側、一之宮の地にあつたからなんです。実際、堀跡や土器(「かわらけ」と読みます。素朴な素焼きの小さなお皿です。)などが発掘されています。伝承も残っていて、当時の堀や土塁の名残、櫓があつたとされる場所、伝七士の墓といつた梶原景時が生きていたころの面影を辿ることができるからです。

だから景時命!

源義経を追い落とし死に追いやった「いじわるな極悪人」として長い間えがかれてきた梶原景時。残されている資料や逸話を丁寧に読み解き、その人物像や歴史的役割を改めて評価し世に問うてきた「梶原公顕彰会」の皆さんが寒川町にはいます。全国各地にも顕彰会があり、多くの方に景時のひととなりを知っていただくため、日夜活動している皆さんです。



上の写真は「梶原景時館址」です。ここは、景時の生きた当時をもっと高くなっていて、その上には物見櫓があつたと伝わっています。このほか、梶原さんと寒川町に関する情報は、右のQRコードからどうぞ!



鎌倉殿の13人 はじかれた梶原景時公無念の周辺を巡ろう

裏の解説番号を照らしてね！

あわれにも 空に浮かれし
玉鉾の 道の辺にしも
名をとどめけり 源親行

1 清見ヶ関(清見寺)
2 高橋高源寺
3 高橋山梨家
4 大内梶原堂
5 梶原山公園
6 びん水
7 瀬名川矢射タム橋碑
8 梶原西遊さ跡看板
9 曲金馬頭観音
9 曲金観音堂
11 吉川・吉川発祥の地墳墓

至平山
瀬名
大内
北街道
鳥坂
吉川
楠
東名高速
瀬名川
矢部
西豊田小
文
法蔵寺
丸子
二軒家
駿河匠宿

清水駅
大曲
横砂
北
西
東
南

建長寺管長揮毫
大山興禅寺 蔵

瀬名梶原会
054-261-7867
令和4年5月14日発行

国土地理院地図を加工

頼朝政権を支えた重臣(景時公)が突然…

鎌倉幕府に迎えられてからおおよそ18年、その頼朝が落馬？とかで半月後に死去し(1199年1月)嫡男頼家が跡を継ぎました

頼朝を支えた景時にとって 二代目や周囲とうまく行かず、些細なことから 景時弾劾の訴状が出され、わずか1年たたぬ間に鎌倉を追放されることとなりました(1199年10月)

景時公は いったん家族の住む相模一之宮(神奈川県寒川町)に引きあげ、西国で再起を図ろうと、頼朝公死去から1年後(1200年正月18日ころ)精鋭数十人で西国(京都方面)を目ざしたのでした

駿河での戦いの流れ

- 1 清見ヶ関(興津清見寺) 幕府の手配で見張りの入江一族と 小せり合いが発生します 獲物？発見！ 即味方に伝令が飛びます 清見寺内に 最初の小競り合いの血しぶきの板で作ったと伝わる「血天井」が残ります 清水区興津清見寺町 418
- 2 このあたり 鎌倉街道沿いが激戦区 次第に西へと移動する
- 3 翌日 このあたり周辺に犠牲者があちこち散らばっていた模様
- 7 戦い不利な状況で、景時が名馬「磨墨」にまたがり駆け抜けたとき、橋のたもとの入江一族から 矢を射かけられた 当時 長尾川はこのあたりを流れていたらしい 葵区瀬名川 2-2-35
- 9 ここにも入江一族が街道を通過させまいと 待ち構えていたので、景時は突破は無理と判断し、引き返した 駿河区曲金 2-9・曲金 1-5-35
- 7 再び 逆方向に駆け抜け、また矢を射かけられた 景時は仲間に合流したが、残る人は少なく、最後を迎える場所を探して 裏山に登ることを決意した 名馬「磨墨」も一緒だった
- 6 山に登る途中 わき水を見つけ 渴いた喉を潤し、髪の毛を直した 磨墨も笹を食べた「駒喰い笹」と伝わる 梶原山公園内駐車場下
- 5 この山頂で景時親子三人が 攻め手から逃れ 自刃したと伝わる 辞世の句 **もののふ(武士)の 覚悟もかかる 時にこそ 心の知らぬ 名のみ 惜しけれ**
ときは 1200年1月20日(正治2年正月20日)
景時61才・景季39才・景高36才・名馬磨墨・ほか舎人熊谷

戦い終わって 供養と顕彰

- 3 戦いで倒れ 路傍に転がる遺体を不憫に思い、自宅庭に埋め、800年余にわたり命日供養をその庭で続けている 40数年後街道を通りかかった源親行(推定)の東関紀行記載と供養塚が一致する 清水区高橋 5-4-9 (個人宅庭には 礼儀正しく)
- 2 「不尽灯…三十三人は是也」梶原勢犠牲者を悼む供養塔と伝わる 梶原一族の供養を続け、清水梶原会は 全国交流活動の拠点となりました その後清水梶原会は解散 梶原景時公のレリーフやブロンズ像など由緒品も多い 清水区高橋 2-7-4
- 4 子孫が 山中腹に一族供養の「龍泉院」を建てた 荒廃が進み、明治初期神仏分離でふもと(堂)に寺仏墓など移し 地元管理中 清水区大内 891-64
- 5 梶原山公園完成に合わせ、H9年「梶原景時終焉之地」碑除幕 清水梶原会が手配し鎌倉建長寺管長が揮毫 慈円愚管抄の引用文
- 10 馬の手綱を引く舎人が、自刃遺体を埋め、供養のため隠れ住み、馬の頭骨を「馬頭観音堂」に保存 熊さん牧場 駿河区丸子 3330-2
- 9 通称 景時公は「狐ヶ崎」で斃れたと云われている 狐ヶ崎とは 山の先端(出鼻)を意味し 固有の場所ではない

今も続く 顕彰と地域交流

- 8 静岡松尾書店「梶原景時の生涯」発刊記念の看板を店主から 瀬名梶原会が譲り受け移設・8枚の合戦模様絵入り的大作でしたが、腐食し、更新した 葵区瀬名 1-32-14 梶原山ハイク登り口 路側
- 11 梶原一族を全滅させた入江一族の主力、吉川氏の墳墓など 三男景茂と一騎打ち相手は吉川小次郎と伝わる、相打ちだった？ 吉川氏は この戦の恩賞などで西国に移住し、大出世、岩国市錦帯橋も作った 吉川元春など毛利氏と縁が深い 清水区吉川 909 付近 この戦に使われた刀は、国宝「狐ヶ崎」で岩国市吉川史料館所蔵
- 5 梶原関連組織は 全国で顕彰交流活動中 犬山市・寒川町・郡上市・甲府市・東京大田区・鎌倉市梶原・下諏訪町・甕島・気仙沼市ほか